

渴き

ゆくりなくも幽閉の
縋りてもなお膝折れ
腕突き出せるも水に届かず
死の息を吹きかけられ
血は青く透きとおり

美に毒盛りしは詩人なり
哀しくも美はいや増せり
片手を喉に、片手を空くうに

(1984.12.26)